

各 関 係 機 関 の 長 殿

鹿児島県病害虫防除所長

令和 7 年度 病害虫発生予察情報について (送付)



このことについて、発生予察注意報第 2 号 (サトウキビのメイチュウ類) を発表します。  
なお、本情報は、病害虫防除所ホームページ (<https://www.pref.kagoshima.jp/ag13/kiad/boujoshou/index.html>) にも掲載しています。

## 病害虫発生予察 注意報第 2 号

- 1 農作物名 サトウキビ
- 2 病害虫名 メイチュウ類 (カンシャシクイハマキ、イネヨトウ)
- 3 対象地域 奄美地域
- 4 発 生 量 やや多
- 5 注意報発令の根拠
  - (1) 令和 8 年 2 月の巡回調査において、夏植ほ場におけるメイチュウ類の発生ほ場率は、奄美地域で 69% (平年 65%) と、平年よりやや高かった (表 1)。
  - (2) 奄美地域の島別の発生ほ場率は、奄美大島、喜界島および徳之島では平年より高く、奄美大島では発生程度別に「多」1ほ場、「中」6ほ場、喜界島では「中」3ほ場、徳之島では「中」1ほ場が認められた (表 1、図 1、図 2)。
  - (3) 令和 7 年 10 月の巡回調査でメイチュウ類の発生ほ場率が奄美地域で 40% (平年 20%) と高く、技術情報第 21 号 (11 月 11 日発出) で防除を呼びかけていたが、依然として、カンシャシクイハマキで 12 月の成虫の誘殺数は平年より多く、また、2 月上旬の立ち上がりも早い (図 1 左)。
  - (4) 3 月の気温は高いと予想されており、成虫の発生時期が早まり、防除が遅れると夏植、秋植ほ場及び株出、春植ほ場の萌芽茎での被害の拡大が懸念される。
- 6 防除上注意すべき事項
  - (1) 夏植、秋植などの生育中のほ場では散布剤のサムコルフロアブル 10 を用いると速効的に被害が抑制される。なお、多発生ほ場では、初回散布の 7~10 日後に追加散布する。
  - (2) 株出、春植ほ場ではプレバソン粒剤を用いて予防する。株出ほ場では株元処理、春植ほ場では植溝処理を行う。ただし、新植でハリガネムシ類の被害が多いほ場では、ハリガネムシ類に適用のないプレバソン粒剤の使用は避け、プリンスベイトを用いる。
  - (3) 被害の多い地域では、薬剤による一斉防除を行う。
  - (4) 農薬の使用に当たっては、表示ラベルを確認の上、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努める。
  - (5) ほ場内外のイネ科雑草は発生源となるので除草を徹底する。

### 【参考】発生生態及び被害

- (1) カンシャシクイハマキは年 6~7 回発生する。イネヨトウは年 4~5 回発生する。
- (2) カンシャシクイハマキ成虫は葉裏に、イネヨトウ成虫は葉鞘部の隙間に産卵し、ふ化幼虫は葉鞘内に食入し、生長点等を加害するため、芯枯れ症状を呈するまで発見が困難である。
- (3) 新植では、カンシャシクイハマキはほ場全面で発生、イネヨトウの初期被害はほ場周縁部で多い傾向にあり、その後、ほ場内でスポット状または畦に沿って被害が拡大する傾向がある。

表1 奄美地域の新植夏植ほ場におけるメイチュウ類の被害発生ほ場率（2月）

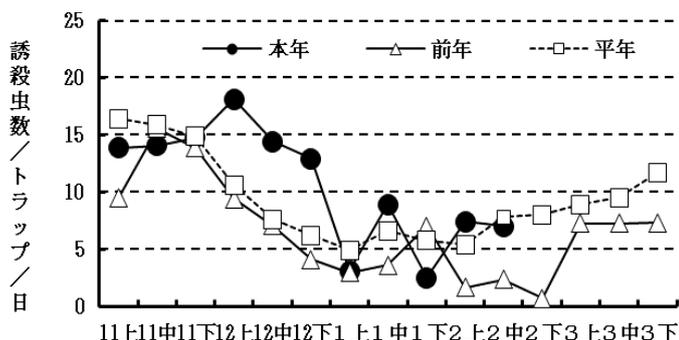
調査島名	調査年	調査ほ場数 (筆)	発生ほ場数 (筆)	発生ほ場率 (%)	発生程度別ほ場率 (%) 注3)				
					甚	多	中	少	無
奄美大島	本年注1)	35	27	77	0	3	17	57	23
	平年注2)	35	18.6	54	0	1	9	44	46
喜界島	本年	10	10	100	0	0	30	70	0
	平年	10	6.4	60	0	0	10	50	40
徳之島	本年	10	7	70	0	0	10	60	30
	平年	10	5.4	58	0	0	8	50	42
沖永良部島	本年	10	3	30	0	0	0	30	70
	平年	10	7.6	81	1	6	17	57	19
与論島	本年	10	5	50	0	0	0	50	50
	平年	10	8.6	86	0	7	42	37	14
地域全体	本年	75	52	69	0	1	13	55	31
	平年	75	46.6	65	0	3	15	47	35

注1) 本年(令和8年)の調査月日: 2月5~17日

注2) 平年値: 平成27年から令和6年までの平均値

注3) 発生程度 甚: 被害茎率21%以上、多: 被害茎率11~20%、中: 被害茎率6~10%、少: 被害茎率1~5%

カンシャシンクイハマキ



イネヨトウ

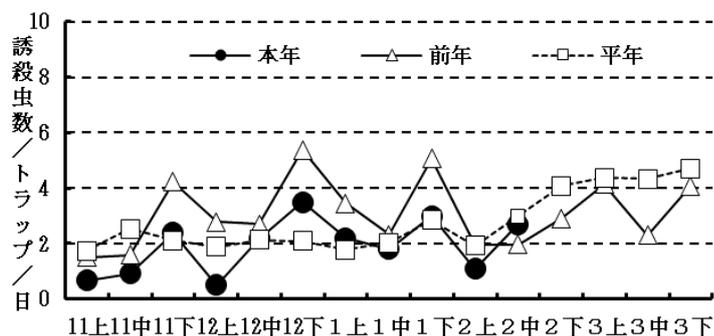


図1 メイチュウ類の性フェロモントラップによる誘殺推移(農開センター大島支場調査)  
誘殺虫数は4地点の平均値(奄美大島手花部、辺留、土盛、万屋)



図2 芯枯れの被害茎 (令和8年2月20日撮影 南西糖業(株) 農務部提供)